

バングラデシュ西部における炊飯方法とパーボイル 方法の関連：広域分布調査をもとにして

小 林 正 史
谷 正 和

1. 調査の目的と方法

目的

南アジア（特にインド東半とバングラデシュ）は稲作文化圏の中でも最もパサパサした炊きあがりの米を食べる地域である。この理由として、汁気の多いカレー（野菜と魚のトルカリ、肉を入れたマンショトルカリ、豆スープなどから構成される）と手で混ぜて食べるため、汁気を吸収しやすいパサパサした炊きあがりの米飯の方が適することがあげられる。南アジアの高品質の米飯は、米粒の周囲や内部の水分が少なく、フワットした軽い感じである。このような米飯の方がカレーの煮汁をよりしっかりと吸収し、美味である。オカズと混ぜることをせず、米粒そのものを味わうため、「きらきら光る」「銀しゃり」と表現されるように米粒の周囲や内部に多くの水分を含むほど美味とされる日本の米飯とは対照的である。パサパサした米飯が好まれるもう一つの理由として、熱帯・亜熱帯地域では水分の少ない米飯の方が保存が利くこともあげられる。

南アジアにおいて米をパサパサに炊きあげる工夫として、①粘りけ成分の少ない（アミロース比率の高い）米品種を用いる、②殻付きの粳を蒸し煮するパーボイル加工により、吹きこぼれしにくく長時間茹でても煮くずれない粳にする、③煮る湯取り法や炊きあげる湯取り法という炊飯方法により粘りけ成分を除去する、の3つがあげられる。筆者らは以前、これら3要素が相互に密接な関連をもつことを指摘した（小林・谷2002、2003）。

本稿の主目的は、これら3要素間の関連のうち「パーボイル方法と炊飯方法との関連」について分布状況から具体的証拠を提示することである。

バングラデシュ西部のジョソール県（県はベンガル語ではジラ zila）における食文化調査において、シャシャ郡（郡はベンガル語でウボジラ upozila）のシャムタ村ではマルガラ（マルは「煮汁」、ガラは「除去する」を意味する。煮る湯取り法）という炊飯方法が用いられるのに対し、チョウガチャ郡マルア村ではボシャバハット法（「ハバット」は米飯、ボシャは「座る」を意味し、この場合は「鍋を傾けて煮汁を捨てる操作をしない」炊きあげる湯取り法を指す）が用いられる、という地域差が明らかにされた（小林・谷2002、2003）。また、米のパーボイル加工（殻付きの粳を蒸し煮する）の方法もシャシャ郡のシャムタ村では1回蒸し煮なのに対し、チョウガチャ郡マルア村では2回蒸し煮（ボルカノ）であることから、炊飯方法とパーボイル方法が関連を持つと想定された。これらの結果を踏まえ、2005年夏に2種類の炊飯方法と2種類のパーボイル

方法の分布範囲を明らかにするための広域分布調査を行った。

以下では、分析方法を記述した後、①2種類の炊飯方法の分布を明らかにし、その分布差を生みだした要因を明らかにする、②2種類のパーボイル方法の分布を明らかにし、その分布差を生みだした要因を明らかにする、③上の2点を踏まえて炊飯方法とパーボイル方法の関連を明らかにする、という手順で分析を行う。

調査村の選択 (図1)

バングラデシュの西部に位置するジョソール県は、ジョソール市(中央やや北寄り)、北西部のチョウガチャ郡、南西部のジコルガチャ郡、西端のシャシャ郡、南部のモニランプール郡・ケシャプール郡、東南部のアブハイナガル郡、北東部のバガルパラ郡という8つの郡市から構成され、北はジェナイダ県、北東はマグラ県、東はノレイル県、南はシャトキラ県とクルナ県、西側でインドの24ポルガナ県と接している。本稿で報告する炊飯方法とパーボイル方法の分布調査は、南部のモニランプール郡・ケシャプール郡と南東部のアブハイナガル郡を除く5郡市を対象として2005年度に行った。これら5郡市の中でも、前稿において明瞭な地域差が観察されたチョウガチャ郡とシャシャ・ジコルガチャ両郡の間の比較に重点を置いている。以下の方法で訪問する村(表1に示す42)を選択した。

ジョソール県のほぼ中心(やや北寄り)のジョソール市からチョウガチャ、ジコルガチャ、マグラ(マグラ県の県庁所在地)、ノレイル(ノレイル県の県庁所在地)という主要都市へ伸びる幹線道路およびチョウガチャ・ジコルガチャ間を中心に、幹線道路に沿ってだいたい均等な間隔となるように調査村を選択した。調査対象は市街地よりも農村を主体としている。これは、市街地では、①他地域からの移住世帯の比率が高い、②炊飯器の普及度が高い分、伝統的炊飯方法の比率が低い、などの点で炊飯方法の多様性が高いので地域本来の特徴を見いだしにくいためである。

調査を行った幹線道路と村(村番号は訪問した順に付けた)は以下のとおりである(表1)。ただし、⑦は調査地であるマルア村周辺の地域であり、幹線道路ではない。

- ①ジョソール・チョウガチャ間「ジョソール西部→チョウガチャ西部」1～4
- ②チョウガチャ・モヘシュプール(ジェナイダ県)間「チョウガチャ北部」5・6
- ③チョウガチャ・ジコルガチャ間「チョウガチャ南部→ジコルガチャ北部」8～10、41、12～14
- ④ジョソール・ジコルガチャ間「ジコルガチャ東部」15
- ⑤ジコルガッチャ・ナバロン・シャトキラ間「ジコルガチャ西部・シャシャ」16～18、34・35
- ⑥ジョソール・マグラ間「ジョソール北部」20～22
- ⑦チョウガチャ・サイドプール間(ここのみ幹線道路ではない)「チョウガチャ西部」7・19・23 マルア村・24・25・42 バルイハティ村
- ⑧ジョソール・モハメッドプール(チョウガチャとジコルガチャの中間点)間「ジョソール西部→ジコルガチャ北部」28～31、および11
- ⑨チョウガチャ・24ポルガナ県(インド)間「チョウガチャ南西部」32・33
- ⑩ジョソール・ノレイル間「ジョソール東部→バガチュラ郡→ナレイル県」36～38

聞き取り調査の方法

各村において炊飯とパーボイルの方法の全体傾向が推定できると判断される数の世帯（主婦）に聞き取りを行った。以下の項目をきいた。なお、後述するようにボシャバハット主体の村でもヒンズー世帯はマルガラを用いることから、イスラム世帯とヒンズー世帯を分けて傾向を集計・判定した（付表①）。

①イスラム世帯かヒンズー世帯か：ジョソール県ではイスラム世帯が大半（9割以上）を占め、ヒンズー世帯は少数派である。ヒンズー世帯は土地持ちの比率がイスラム世帯よりも低く、土器作り、鍛冶、魚取りなどを主生業としている世帯の比率が高い。これらの少数派のヒンズー世帯はボシャバハット主体地域においても大多数がマルガラを用いる。このため、各村の炊飯とパーボイルの特徴は主体を占めるスラム世帯を対象として判定した。一方、国内でもヒンズー教徒の比率が高いノレイル県ではno.38のようにヒンズー世帯が大半を占める村が多数存在するが、これらのヒンズー集落では、隣接するムスレム集落同様にボシャバハットが主体を占めている。この点については後述する。

②炊飯方法がマルガラかボシャバハットか。また、1つの世帯で両者を使い分ける（または時間的変化がみられる）ことがあるかどうか。あるとすればどのような理由・状況で使い分けて（変化して）いるか。

③近隣世帯の炊飯方法の概要：聞き取りしている世帯と異なる炊飯方法を用いる世帯が近隣に存在するかどうか。

④パーボイル加工の方法：「蒸し煮が1回のみか2回（ボルカノと呼称）か」、「1つの世帯で両者を使い分ける（または時間的変化がみられる）ことがあるかどうか」、「あるとすればどのような理由・状況で使い分けて（変化して）いるか」などを聞いた。なお、米を自給せずに購入している世帯では、パーボイル加工を行わないため、記録できなかった。

⑤主婦の出身村、現在の村に嫁いできた年（何年前か）、出身村にいた時（および現在まで）に母親が用いた炊飯方法：訪問していない村の炊飯状況を参考資料として知るためにこの項目を設けた。主婦の出身村での炊飯方法を付表②に示した。

⑥現在の村に嫁いで来た時（および現在まで）に義母（夫の母）が用いていた炊飯方法：対象村での訪問していない世帯の炊飯方法を知るため、および、時間的変化を知るため。

なお、聞き取り調査では「1回の炊飯での米調理量（グラム）と1日の炊飯回数」（これまでの調査において、ボシャバハットは大量の米を炊く場合には水量調整が難しくなることが指摘されていたため）、「牛・ヤギの保有数」（調査の過程でマルガラは家畜の餌として重要であることが判明したため）、「米の自給度」（購入した米を炊く場合は適切な米水比率が分からないため、マルガラの方が適することが調査の過程で判明したため）の3属性についても記録を行ったが、有意義な相関がみられなかったため、属性表（表1・付表1）には掲載しなかった。

各村で訪問する世帯数は、村の炊飯方法の特徴がほぼ把握できるように設定した。例えば、聞き取りした世帯とその近隣世帯、および集まってきた主婦達の炊飯方法がボシャバハットのみかマルガラのみに統一されていた場合は3～4世帯の聞き取りでも村の炊飯傾向が把握できた。一方、ボシャバハットを用いる世帯とマルガラを用いる世帯が混在する村では、どちらが多数派

かを把握するようにつとめた。

聞き取りデータを基に表1を作成した。上述のように、炊飯方法については、ヒンズー世帯は地域に関わらずマルガラを用いることが明らかになったため、各村の炊飯方法は大多数を占めるイスラム世帯を対象として類型化した。「ボシャバハットが大多数を占める B」「ボシャバハットが多数派だがマルガラもかなり存在する B (+M)」「ボシャバハットとマルガラがほぼ半々 both (3村)」「マルガラが多数派だがボシャバハットもかなり存在する M (+B)」「マルガラが大多数を占める M」という5類型に分類した。

一方、パーボイル方法については、イスラム世帯とヒンズー世帯の間で違いがみられないため、両者を合わせて各村の特徴を類型化した。「2回蒸し煮(ボルカノ)が主体」「両者が大差なく用いられる」「1回蒸し煮が主体」の3類型に分けた。

2. 炊飯方法の分布の違いを生み出した要因

マルガラとボシャバハットを選択する要因 (表2)

聞き取り調査における選択理由(付表①): マルガラ(煮る湯取り法)は、①大量の水で米を茹でた後、煮汁を捨て去る、②このため水量を計量する必要がない、という点でボシャバハット(炊きあげる湯取り法)と異なる。マルガラかボシャバハットの一方のみを用いる世帯では、その選択理由をたずねても「昔からそうしている」といった答えが返ってくることが一般的であり、特に理由を意識している主婦は少ない。そこで、マルガラとボシャバハットを併用する世帯(一方が主体で他方が少数派)において、時々(少数派として)マルガラまたはボシャバハットを選択する理由をたずねた。その結果、以下の意見があげられた。

まず、マルガラが選択された理由は以下の4つに大別できる。第1に、水量(米水比率)を誤る心配がないので失敗がない点である。具体的には、①若い嫁や娘はボシャバハットの米水比率の加減が難しいためマルガラを用いる(no.7, 19)、②購入した米は適正な米水比率が分からないためマルガラを用いる(no.7, 39)、③家族数が倍に増えたためマルガラ法に切り替えた(no.21)、④多量の米を炊く場合のみマルガラを用いる(no.11)、⑤米品種を変えたためマルガラに切り替えた(no.21)、⑥ボシャバハットの方が難しいのでマルガラを用いる(no.3, 8)、などの種類がある。

第2に、牛を飼い始めたのでマルガラ法に切り替えた(no.4, 8, 14, 37)。

第3に、マルガラで炊いた米の方が(より)パサパサしているため)保存が利く(no.28)。

最後に、ボシャバハット法で炊き始めたが、水加減を誤ったため煮汁を捨てるマルガラ法に途中で切り替えた(no.14, 19, 26, 31)。

一方、マルガラ主体世帯においてボシャバハットが選択される理由として、①煮汁を捨てないためビタミン分がより豊富(多数の村)、②忙しい時は短時間でできるボシャバハットを選択(no.7)、③家畜を手放したのでボシャバハットに切り替えた(no.8, 32)、④マルガラ法で炊き始めたが、水が少なかったため煮汁を捨てなかった(no.18, 31, 37)、⑤転居してきたばかりなので転居元の炊飯方法を継続している(no.6)、などがあげられた。

バングラデシュ西部における炊飯方法とパーボイル方法の関連：広域分布調査をもとにして

表1 各村の炊飯類型とパーボイル類型

村 No	村	郡 tana	炊飯類型	パーボイル類型
1	Apra	Jessore	B	2回蒸し煮主体
2	Moshiurnagar	Jessore	B	1回蒸し煮主体
3	Singhajuli	Chaugacha	both	
4	Chaugacha town	Chaugacha	B (+M)	1回蒸し煮主体
5	Tengarpur	Chaugacha	M(+B)	
6	Hazrakanda	Chaugacha	M(+B)	半々
7	Isapur	Chaugacha	B(+M)	1回蒸し煮主体？
8	Patambarpur	Chaugacha	B(+M)	？
9	Garibpur	Chaugacha	B	？
10	Palua	Chaugacha	B	半々
11	Kaemkula	Jikargacha	B	？
12	Magura	Jikargacha	both	2回蒸し煮主体
13	Hariadiara	Jikargacha	M(+B)	2回蒸し煮主体
14	Jikargacha	Jikargacha	M(+B)	2回蒸し煮主体
15	Nalikpur	Jikargacha	M(+B)	2回蒸し煮主体
16	Beniali	Jikargacha	M	2回蒸し煮主体
17	Gadkali	Jikargacha	M	
18	Kalagachi	Jikargacha	M	2回蒸し煮主体
19	Rustonpur	Chaugacha	B(+M)	半々？
20	Monoholpur	Jessore	B	半々？
21	Lebutra	Jessore	B(+M)	
22	Ichari	Jessore	B	？
23	Marua	Chaugacha	B	1回蒸し煮主体
24	Arpara	Chaugacha	B	？
25	Saidpur	Chaugacha	B	1回蒸し煮主体
26	Gubuli	Jessore	both	半々
27	Kayarpara	Jikargacha	B(+M)	？
28	Arenda	Jessore	M(+B)	2回蒸し煮主体
29	Narangari	Jessore	M(+B)	2回蒸し煮主体
30	Halsa	Jessore	B(+M)	半々？
31	Monoholpur	Jikargacha	both	半々
32	Barakabila	Chaugacha	B(+M)	？
33	Masampur	Chaugacha	B(+M)	半々？
34	Halikana	Sharsha	M	2回蒸し煮主体
35	Samta	Sharsha	M	2回蒸し煮主体
36	Fatepur	Jessore	B(+M)	1回蒸し煮主体
37	Darajhut	Jessore	B(+M)	1回蒸し煮主体
38	Bashubida (ヒンズー主体村)	Narail 県	B(+M)	1回蒸し煮主体
39	Tularampur	Narail 県	B(+M)	？
40	Kurigram	Narail 県	B(+M)	？
41	Mohamedpur	Jikargacha	M(+B)	半々？
42	Baloihati	Chaugacha	B	半々？

炊飯類型

B: ボシヤバハット主体

B(+M): ボシヤバハット主体だがマルガラも多い

both: 両者半々

M(+B): マルガラ主体だがボシヤバハットも多い

M: マルガラ主体

表2 マルガラとボシャバハットの比較

炊飯方法	煮る湯取り法マルガラ	炊き上げる湯取り法ボシャバハット
米と水の比率	米の3倍以上という多めの水を入れる。加熱終了後、鍋を傾けて煮汁を捨て去る	水は米の2.3～3.3倍の重量。炊く量が少ないほど、蒸発する水分の比率が高いので水を多め
水の計量	最後に煮汁を捨てるので、水の計量は不要。水分量で失敗する危険はない。	指で水量を測る。米の量が増えるほど蒸散比率が減るため、水の比率が低くなる。よって、炊飯量が多いほど水を入れすぎて「雑炊状態」になる危険が高まる。
加熱過程	「強火→弱火」へと移行するは炊き上げる湯取り法ほど明瞭ではない（加熱の最終段階まで煮汁が多く存在するため）	沸騰するまで強火で加熱（蓋あり）し、吹きこぼれそうになると蓋を半開きにし、汁気がなくなると弱火に移行
蓋	沸騰すると蓋をはずすことが多い。蓋は軽いアルミ製と重い土製とがある	最初は蓋を掛けるが、沸騰すると蓋を半開きにする。アルミ製など軽めの蓋
吹きこぼれ	パーボイル米のため沸騰しても吹きこぼれることが少ない（7/13例）	パーボイル米のため沸騰しても吹きこぼれが少ない（6/17例）
湯取りの方法	加熱終了後に煮汁（粘りけ成分が溶けだしている）を全て捨てるため、パサパサに炊きあげることができる。	沸騰したら蓋を半開きにし、蓋に溜まった煮汁を少量捨てることが多い（9/17例）。蓋を半開きにするので蒸発量が多い。
水の追加	あり（3/13例）	稀（1/17例のみ）
加熱時間	多量の水を入れて茹でるため35～50分と最も長め	マルガラより短め25～40分
長所と短所	①大量に炊く場合や慣れていない種類の米を炊く場合でも水量で失敗することがない。→水加減が分からない購入米に適する。また、大量の米を炊く大家族世帯や料理店に適する。 ②除去した煮汁が牛の餌になる（ボシャバハット地域での回答） ③煮汁を捨て去ることによりパーボイルド米の臭い取り去る	水の量を適正に測る必要がある。また、かき回しのタイミングが重要。→米を大量に炊く場合や慣れていない米を炊く場合は水量を失敗しやすい
	ビタミンが流出 加熱時間が長いので燃料をより多く使う 湯を流す時に指をやケドすることがある	①ビタミンを保持 ②加熱時間が短いので燃料が少なくて済む 指をやケドすることはない。
宗教との関連	地域に関わらずヒンズー世帯の大多数はマルガラ	ヒンズー世帯主体の村（ノレイル県のNo.38村）のみヒンズー世帯もボシャバハットを用いる
分布地域	インド東部（24 ポルガナ県）からジョソール県の南半・西端にかけての地域 Jikargacha 郡・Sharsha 郡の大半、ジョソール市南東部にかけての地域。チョウーガチャ郡北部	ジョソール県の北半からナレイル県・マグラ県・ジェナイダ県（西部を除く）にかけての地域 Chaugacha 郡（北部を除く）・ジョソール市（南西部を除く）の大半とバガルパラ郡

なお、マルガラとボシャバハットを併用する世帯では、上述のように、水加減の失敗からボシャバハットを途中からマルガラに切り替える（水が多すぎたため最後に捨て去る）、またはマルガラがボシャバハットになる（水が少なかったため捨て去る煮汁がなくなる）といった柔軟な対応も報告されている。これらの例は両方法の分布境界地域に多く存在するが、境界地域ではボシャバハットでも水量を量らない例が目立つことから、両方法の違いの認識自体がややあいまいになっているようである。

マルガラの長所と短所（表2）：以上を整理すると、マルガラの長所として以下の点があげられる。第1に、最後にすべての煮汁を取り去るマルガラでは、大量に炊く場合や慣れていない種類の米を炊く場合でも水量で失敗することがない。一方、ボシャバハットでは米水比率を間違えると雑炊（キチュリ）状態になる危険がある。特に、1回に炊く米の量が多くなるほど蒸散比率が低くなる（蒸散量は水面の表面積に比例するので、米＋水の容積が大きくなるほど水量に対する蒸散量が少なくなる）ため、米に対する水の比率を減らす必要がある。このため、1回の炊飯量が多くなるほど、ボシャバハットでは水を入れすぎて失敗する確率が高まる。よって、1回の炊飯量が多いほどマルガラの方が失敗が少ないといえる。以上の理由から、マルガラは、①適正な米水比率を把握していない購入米の炊飯に適する、②炊飯に慣れていない人でも失敗する危険が

少ない、③大量の米を炊く機会や料理店の炊飯に適している、などの長所を持つ。マルガラを選択する理由としてこの点を指摘した例が最も多かった。

第2に、除去した煮汁はビタミンを多く含むため牛やヤギの餌として重宝される。上述のように、「牛を飼うようになったのでボシャバハットからマルガラに切り替えた」「牛を全て売ったのでマルガラからボシャバハットに切り替えた」という回答がボシャバハット主体地域においてしばしば得られたことから、家畜への煮汁供給は炊飯方法を選択する上で重要な要因の一つといえる。ただし、不思議なことにマルガラ主体地域では「牛にマールを与えるためにマルガラを選択している」といった回答はなかった。

第3に、パーボイルド米は蒸し煮をすることにより臭いが強まるが、煮汁を捨て去ることによりこの臭いを除去できる。

最後に、マルガラの方が粘りけ分をより徹底的に除去できることから、ボシャバハットよりも保存がきく。

一方、マルガラの短所（即ち、ボシャバハットの長所）として以下の点があげられる。

第1に、ビタミンを豊富に含んだ煮汁を除去することは栄養の損失である。ただし、ビタミン流出は米を食べる人間にとっては大きな損失だが、上述のように家畜に与える場合は全体としては栄養の損失とはいえない。よって、栄養の損失は、家畜を飼うことが少ない村や都市部でより頻繁に問題となると考えられる。

第2に、加熱時間が長いことにより多くの燃料を必要とする。シャムタ村とマルア村での数シーズンにわたる調理観察において、薪は貴重品であり、通常の調理では枝類、ジュート茎、枯葉なども多く用いられることが示された。加熱時間はマルガラが35～50分なのに対しボシャバハットは25～40分と短めなので（小林・谷2002の図11参照）、後者の方が1～2割程度の燃料を節約できる。

第3に、聞き取りでは理由としてあげられなかったが、マルガラで煮汁を捨て去る際に、鍋をつかんでいる指に煮汁がかかって火傷することがある点を調査アシスタントから指摘された。

ボシャバハットとマルガラの分布（図1）

訪問した42村の炊飯方法の分布を示した図1から、ジョソール県の南半はマルガラ、北半はボシャバハット、という分布の違いが明瞭である。ジョソール県の西側に隣接するインド24ボルガナ県からジェナイダ県の西側（モヘシュプール地域）もマルガラ主体である。以下、各村の主体を占めるイスラム世帯を対象とし、主婦の出身地での炊飯方法集計（付表②）も含めて具体的に説明する。

マルガラ主体地域：ジョソール→ジゴルガチャ→ナバロンの幹線道路沿いの村はマルガラ主体である。また、出身地の炊飯方法調査（表8）をみるとモニランプル郡とケシャプール郡というジョソール以南の地域もマルガラ主体の可能性が高い。チョーガチャ郡の西に接するインドの24ボルガナ県については、ボイラ村（no.32の川の対岸でヒンズー世帯主体）での簡単な聞き取り、および出身地の炊飯方法調査からマルガラ主体と考えられる。さらに、チョーガチャの北部の2村はマルガラ主体であり（図1）、ジェナイダ県モヘシュプールも出身地の炊飯調査（表8）

からマルガラ主体と想定されることから、チョーガチャ郡に西接するインド24ボルガナ県からジェナイダ県西部にかけての地域はマルガラ主体といえる。

マルガラ主体地域とボシャバハット主体地域の境界は以下のように線引きが可能である(図1)。即ち、ジコルガチャ・チョウガチャ間では、モハメッドプール(no.41、ほぼ中間点)の手前までは「マルガラ主体でボシャバハットもかなり存在」するのに対し、モハメッドプール・チョウガチャ間はボシャバハットが主体となる。また、ジョソール・モハメッドプール間では、ジョソール市街西部のドルモトラ地区からナランガリ no.29(ほぼ中間点)まではマルガラ主体なのに対し、その西のハルシャ no.30からモハメッドプール no.41まではボシャバハットが主体となる。ジョソール市街の東側については、バガルパラ郡はボシャバハット主体なのに対し、モニランプル・ケシャプール郡はマルガラ主体であり、アブハイナガル郡の北部がボシャバハットとの境界となるようである。

これらのマルガラ主体地域のうち、ジコルガチャ・ナバロン・シャトキラを結ぶ幹線道路沿いではボシャバハット世帯が殆どないことから、マルガラ分布の中心地域と考えられる。一方、両分布圏の境界付近では、マルガラとボシャバハットを併用する村が多く、また、両者を併用する世帯も存在する。このようにマルガラ分布地域とボシャバハット分布地域の間はグラデーションを示して徐々に変化している。

ボシャバハット主体地域：ジョソール・チョウガチャ間の道路沿いとその北部(マルア no.23とバロイハティ no.42を含む)、ジョソール・マグラ間、ジョソール・ナレイル間はボシャバハット主体である。チョウガチャ南西部のインド国境付近の地域(no.32・33)、およびチョウガチャ・モハメッドプール間もボシャバハット主体であることから、チョウガチャ郡では西側を除く大半の地域がボシャバハット主体といえる。また、ジョソール・ジェナイダ間では、出身地の炊飯調査(表8)においてジェナイダ市ではボシャバハットの例があることから、やはりボシャ・バハット主体である可能性が高い。

これらのボシャバハット主体地域では、マルア no.23(食事調査を行った20世帯はボシャバハットのみで、広汎な聞き取りでもマルガラのイスラム世帯は1世帯のみ)、バルイハティ no.42、ゴリプール no. 9、モノホルプール no.20を除いて、マルガラを用いるイスラム世帯が一定数存在する村が主体を占める。マルガラを用いるイスラム世帯が殆どない村はジョソール県の北端近くに位置することから、ボシャバハットの分布はより北方のジェナイダ県(東側)・マグラ県にも広がる可能性が高い。

以上より、マルガラはジョソール県の南半と西端というインドに近接した地域に分布しているといえる。さらに、ジョソール・ジコルガチャ・ナバロン・シャシャからインドへ続く幹線道路は、インドの西ベンガル州最大の都市であるコルカタ(カルカッタ)とバングラデシュを結ぶ重要ルートであることから、マルガラ分布地域はインド(マルガラを用いるヒンズー世帯が主体)との強い結びつきを持つ地域であるといえる。後述のように、このルートで多数のヒンズー教徒がインドから移住してきている。

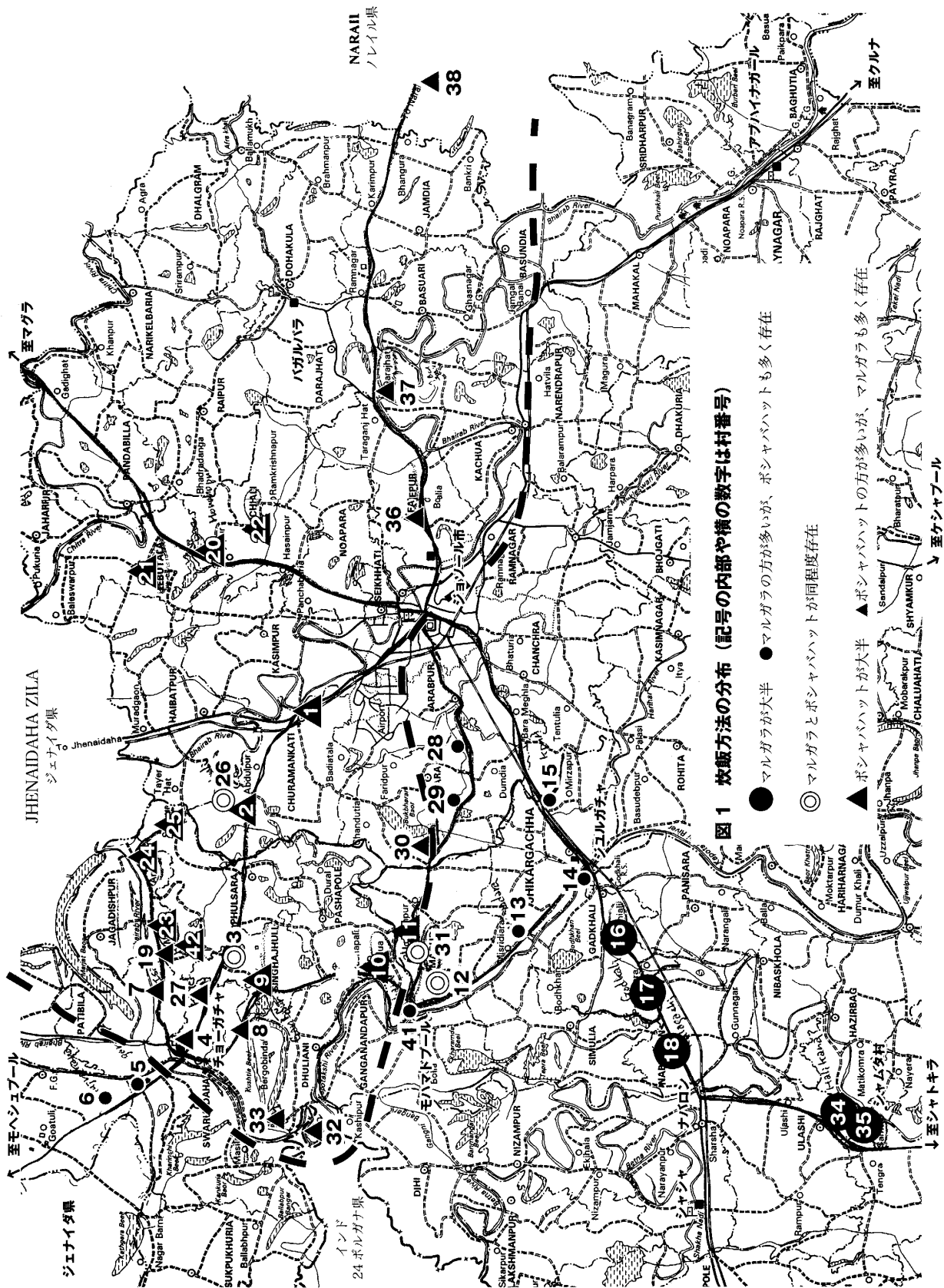
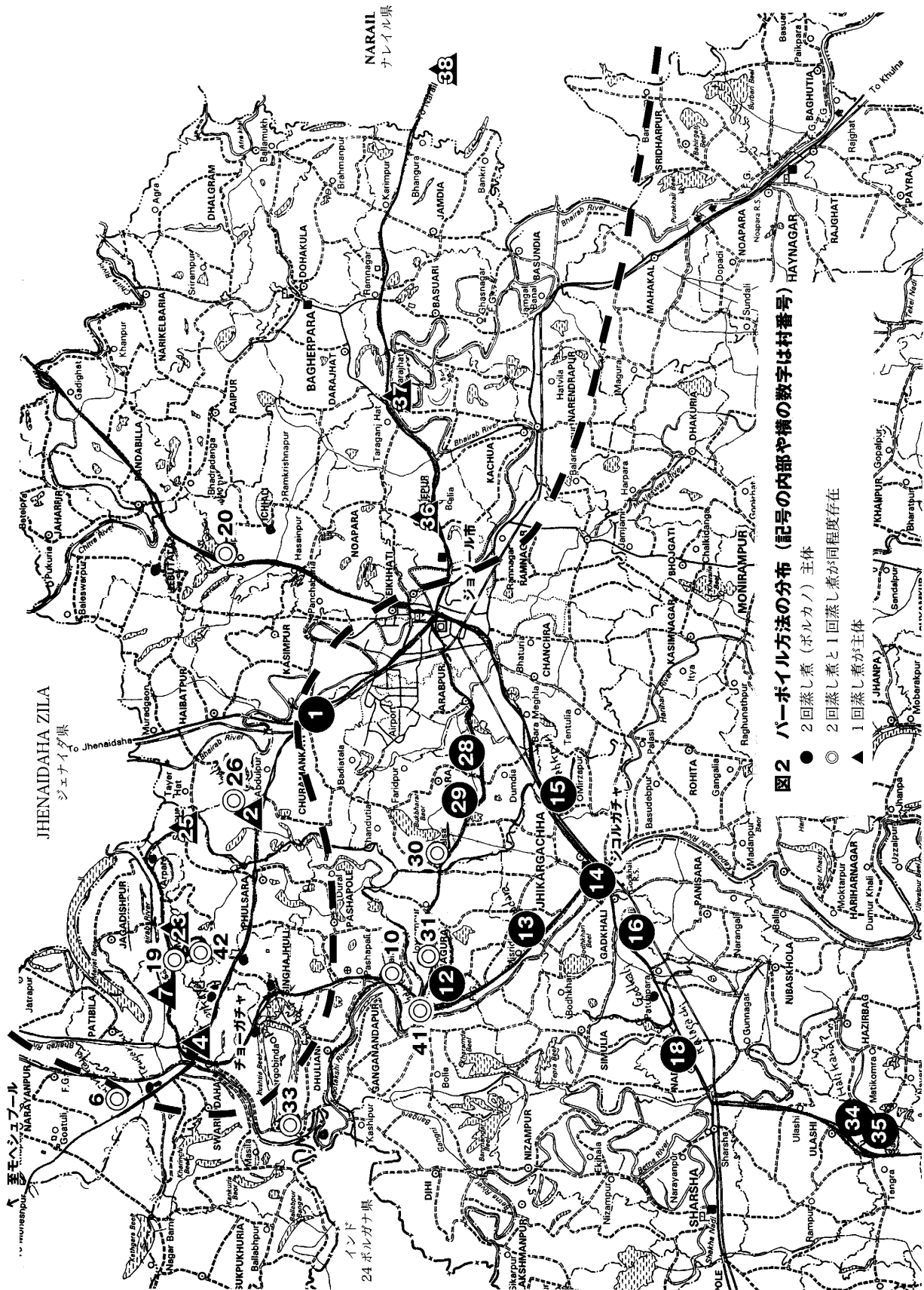


図1 炊飯方法の分布 (記号の内部や横の数字は村番号)



ヒンズー世帯とマルガラ結びつき (表4)

ボシャバハット主体地域にあるマルア no.23、イシャプール no.7、ゴリプール no.9、モノホルプール no.31、グブリ no.26、レブトラ no.21、ダラジュハット no.37、ノレイル市街の8村においてイスラム・ヒンズー世帯間の比較を行った結果、少数派のヒンズー世帯の圧倒的多数はマルガラを用いていた(表4)。また、上述のように、チョウガチャ南西部のボロカビラ no.32 (イスラム世帯主体)ではボシャバハット主体なのに対し、川の対岸のボイラ村(インドの24 ポルガナ県、ヒンズー世帯主体)ではマルガラ主体である事実も、「ヒンズー世帯とマルガラ」という結びつきを示している。このように人口の9割近くを占めるイスラム世帯の大多数がボシャバハットである地域において、ヒンズー世帯のみがマルガラを用いている事実は非常に興味深い。

ただし、ヒンズー世帯の比率が高いノレイル県(ジョソール県の東隣)ではヒンズー主体の村が存在するが、これらのヒンズー主体村(ノレイル県バシュビダ村 no.38 など)では同地域のイスラム主体村と同様にボシャバハットが用いられる。これらのヒンズー主体村のヒンズー世帯は、イスラム主体村のヒンズー世帯(土器作り、鍛冶、漁業などの非農業世帯の比率が高い)に比べて農業を主生業とする(即ち、日雇い農業労働者ではなく、土地を持つか、または土地レンタルにより米の収穫を得る)比率が高い。一方、ノレイル市街地の少数派のヒンズー世帯(土器作り世帯)ではジョソール地域と同様にマルガラが用いられる。このように、ボシャバハットを用いるヒンズー世帯の特徴として、①ヒンズー主体村に住む(村の少数派ではない)、②農業を主生業とする比率が高い、の2点があげられる。この2特徴がボシャバハットの採用とどのように関連するかは、次節で検討する。

時間的变化

ナバロン在住の医師ナズムール氏から「土鍋を使っていた時代(1970年前後まで)はボシャバハットだったが、アルミ鍋を使うようになってからマルガラに変化した」という話をうかがった。即ち、多孔質の土鍋では水分が適度に器壁に浸透するため水分調整が容易だったのに対し、透水性のない金属鍋では水量を適性にしないと失敗しやすい(汁気が多すぎてパサパサした炊きあがりにならない)という。なお、その後、シャシャ郡のマルア no.35 とハリカナ no.34 などにおいて、ボシャバハットからマルガラへの変化について年配者に聞き取りを行ったが、一定した回答は得られなかった。

また、マルガラ・ボシャバハット境界付近に位置するナランガリ no.29、ジコルガッチャ近郊 no.14、マグラ no.12 および、ボシャバハット主体地域にあるチョウガチャ近郊 no.4、イシャプール no.7、レブトラ no.21、ダラジュハット no.37、ツラランプール no.39 では、「ボシャバハットからマルガラに移行した」世帯が存在した。このように変化した理由を聞いたところ「牛を飼うようになったためマルガラの煮汁が必要となった」という回答もあった。一方、「マルガラからボシャバハットに変化した」という世帯はバラカビラ no.32 (牛を売り払ったため)、ハルシャ no.30、ジコルガッチャ no.14 の3村のみにしかみられなかった。このように、土鍋から金属鍋への変化とは対応しないが、「ボシャバハットからマルガラへの変化」は分布境界地域

において断片的に存在する。この事実は分布境界付近では、比較的近年にマルガラに移行したことを示している。

マルガラかボシャバハットかを選択する理由

ジョソール県北半と南半で炊飯方法が異なる理由、および、ボシャバハット主体地域においてもヒンズー世帯ではマルガラが用いられる理由、を検討する。

マルガラとボシャバハットの分布差を生みだした要因： 上述のようにマルガラはジョソール県の南半と西端というインドの（マルガラを用いるヒンズー世帯が主体）との結びつきが強い地域に分布している。このような分布を示す理由の一つとして、「マルガラ分布地域ではインドからの移住者が多かったため、インド同様にマルガラが普及した」という仮説を提示したい。この仮説の根拠として、上述の分布状況に加えて、マルガラ主体地域のシャムタ村 (no.35 シャシャ郡) ではインドからの移住世帯が多いのに対し、ボシャバハット主体地域のマルア村 no.23 ではインドからの移住世帯がないことがあげられる。よって、この仮説の妥当性を高めるためには、「シャムタ村のようにインドからの移住者が比較的多い状況がシャシャ郡やジコルガッチャ郡南半の全体に当てはまる」「マルア村のようにインドからの移住者が少ない状況がチョウガチャ郡全体（西端部を除く）に当てはまる」ことを実証する必要がある。

この仮説は「シャシャ郡では数十年前にボシャバハットからマルガラに変化した」というナズムール氏の説明とも対応する部分がある。ただし、ナズムール氏が指摘した土鍋から鉄鍋への変化（1970年頃）ではなく、インド・パキスタン独立時の土地交換による移住（1950年代）が原因となる。ただし、今回の聞き取り調査では、「現在のマルガラ分布地域（境界付近を除く）においてかつてはボシャバハットが広汎に用いられていた」といった報告は得られなかった。

なお、バングラデシュ国内におけるマルガラとボシャバハットの分布については、バングラデシュ全体ではマルガラが主体である、という言説をしばしば聞いたが、具体的なデータは得られていない。上述のように、①大量の米を炊く料理店ではマルガラが用いられる、②都市部では炊飯器が普及しつつあるため、マルガラかボシャバハットかの調査を行いにくい、などの事情から、今回のような農村部の広域分布調査をしてみないと実態を把握することは難しい。

ヒンズー世帯はマルガラを用いる理由： ボシャバハット主体地域においてもヒンズー世帯はマルガラ炊飯法を使う理由として、以下2つの仮説（相反するものではない）が考えられる。

要因1： ヒンズー世帯では米を購入する比率が高いため、「適正な水量が分からなくとも失敗しにくいマルガラ」の方が適している。この仮説の根拠として、土器作り、鍛冶、魚取りなどを主生業とし、購入米の比率が高いイスラム主体村落のヒンズー世帯ではマルガラが用いられるのに対し、大半が土地持ちまたは小作として耕作に従事しているヒンズー主体集落（ノレイル県バシュビダ村 no.38 など）ではヒンズー世帯も近隣のイスラム集落同様にボシャバハットを用いる、という事実があげられる。

要因2： ヒンズー世帯のアイデンティティの象徴としてマルガラが選択された。マルガラがヒンズー世帯のアイデンティティの象徴となった理由・背景として以下の3点（相反する性質ではない）が考えられる。第1に、牛を神聖視することの延長として、牛の餌として重要な米煮汁マー

ルを重視する習慣が、牛の所有の有無に関わらずヒンズー世帯にあった、という可能性がある（ただし、証拠は得られていない）。

第2に、イスラム世帯ではジョソール県の北半と南半で炊飯方法が異なる傾向がみられるのに対し、各村に少数派として分散するヒンズー世帯では地域を超えてマルガラがアイデンティティの象徴として採用される背景として、「抑圧される側の集団は、地域を超えて共通するシンボルを持つ傾向がある」というホダー仮説（Hodder1982）に基づく説明が可能である。この説明の根拠として、ヒンズー主体村のヒンズー世帯（村の主流派）では特にマルガラに固執することなく、近隣地域と同様のボシャバハットを採用している事実があげられる。即ち、ヒンズー世帯が抑圧される少数派である集落ではヒンズーのアイデンティティ（自分たちは多数派のイスラム世帯とは異なる、という意識）を示すためにマルガラが用いられるのに対し、ヒンズー主体集落では抑圧に由来する対抗意識を持つ必要性が低いため、特にマルガラに固執しない、と解釈することができる。

第3に、ヒンズー世帯の方が妻が夫（男性）につくす傾向が強いため、炊飯においてもより失敗の少ないマルガラが用いられる、という可能性も考えられる。

3. 2種類のパーボイル方法の分布の違いを生み出した要因

パーボイル加工の役割

パーボイル加工とは脱穀前の粳（殻付き）を蒸し煮することにより、米粒の表面を硬化させる加工方法である。粳を蒸し煮することにより米粒の表面が「糊化（アルファ化）→冷却後の老化（ベータ化）」という過程を経て硬化し、後述するような多くの利点をもたらす。蒸し煮による硬化は、食後に飯碗に付着した米粒が時間が経つにつれて器面に硬くこびりつく過程と共通している。このようなパーボイル加工は、煮る湯取り法が普及しているインド・バングラデシュに普遍的にみられるが、他の地域では稀である。

パーボイル加工の役割として以下の点があげられる（小林・谷2003）。第1に、南アジアのインディカ（長粒）米は細長いため脱穀精米時に割れやすいが、米粒の表面が硬化することにより脱穀精米時に割れにくくなる。精米時にわれると粳殻を除去できなくなり、屑米としての使い方ができない。よって、精米時の歩留まりを上げるためにパーボイル加工は重要な役割を果たしている。

第2に、表面が硬化したパーボイルド米の方が害虫（ゾウムシなど）の被害が少ない。

第3に、表面が硬化したパーボイルド米の方が吹きこぼれにくく、また、長時間茹でても煮くずれしにくい。炊きあげる湯取り法や炊き干し法に比べて水量が多い分、より長い時間加熱する必要があるマルガラ（煮る湯取り法）では、上述の性質の米を用いる必要性が高い。

一方、パーボイルド米の短所として、独特の臭いがする点や色調がやや黄色みを帯びることが指摘されている。独特の臭いを取り去るためには、最終段階に煮汁を全て除去するマルガラが最も有効である。

役割の第3点目と短所より、パーボイル加工とマルガラは相互に強い関連を持つといえる。即ち、パーボイル加工の程度が高い（2回蒸し煮）ほど、マルガラとの相性が良いといえる。

2回蒸し煮（ボルカノ）法と1回蒸し煮法の比較（表3）

各村での聞きとり調査において、両者を併用する場合、ボルカノか1回蒸し煮かを選択する（使い分ける）理由として以下の点があげられた（表7）。

表3 パーボイル方法の比較

	2回蒸し煮（ボルカノ）	1回蒸し煮
手順	①大鍋に水を入れて蒸し煮（ボルカノ） ②水漬け ③2回目の蒸し煮	①水漬け ②蒸し煮
水漬け容器	コンクリート水槽や大型土製ボウル（ナンダ）が多い	コンクリート水槽が多く、大型壺グラと池が次ぐ
蒸し煮容器	大型鍋主体で大型フライパンが次ぐ 1回目の蒸し煮（ボルカノ）では水漬け前の粳を蒸し煮するため、中に入れた水からでる水蒸気が逃げにくい大型鍋の方が適する	長方形フライパン（タバル）が主体 蒸し煮段間で水を加える必要性が低いため、下からの被熱面積が大きい大型フライパンの方が適する
カマド	泥製の円形半地下式カマド 大型鍋を載せるには半地下式のカマドの方が適する。 燃料燃焼室が小さいため、灰を取り出しにくい	レンガを長方形に積んだ地上式の簡易カマド 底面積が大きい大型フライパンを加熱するためには、地上式の簡易カマドの方が適する。また、地上式の方が燃料の灰を取り出しやすい
長所と短所	1回蒸し煮よりも粳表面の糊化程度が大きいため、吹きこぼれにくく、また、長時間煮ても煮くずれしにくい。 より多くの燃料（稲藁）が必要	短時間でできる 燃料の量が少ない
精米施設	大量の米をパーボイル加工する精米施設ではボルカノが用いられる。	
分布	マルガラ分布とほぼ共通する ヒンズー世帯／イスラム世帯との相関はない	ボシャバハットの分布とほぼ共通する

表4 イスラム世帯とヒンズー世帯の炊飯方法とパーボイル方法の比較

炊飯類型	イスラム世帯	ヒンズー世帯	総計
ボシャバハット B	61	3	64
B(+M)	9		9
M(+B)	13		13
マルガラ M	41	21	62
change to B	3	1	4
change to M	7		7
?	3		3
パーボイル類型			
ボルカノ	42	1	43
ボルカノ主体だが1回蒸し煮も多い	1	1	2
両方	9		9
1回蒸し煮	37	12	49
ボルカノへ変化	1		1
?	47	11	58
総計	137	25	162

第1は、米品種に応じて蒸し煮が2回か1回かを選択する。イリ高品質品種は2回蒸し煮されるのに対し、ロトナなどの低品質品種やアモンなどの伝統的品種は1回蒸し煮されることが多い(no.20・26における回答)。これは、高品質品種は自給用よりも販売用にされることが多いため、蒸し煮を2回行って品質を高める必要があるためと考えられる。なお、精米施設において大量の米をパーボイル加工する場合は2回蒸し煮が一般的である。このように、パサパサの炊きあがりになる高品質の粳にするためにはパーボイル加工を徹底して行う方が良い。

一方、シャムタ村とマルア村での聞き取り調査では、粘りけが多めの米品種には2回蒸し煮を行うという回答が得られている(小林・谷2003)。即ち、ほぼ例外なく2回蒸し煮(ボルカノ)を行うシャムタ村 no.35では粘りけの強い米品種を用いる比率が高いのに対し、1回蒸し煮が大多数を占めるマルア村 no.23では粘りけの強い品種は殆ど用いられない。聞き取りでは高品質品種は1回蒸し煮、低品質品種は2回蒸し煮、という回答もあった(no.18)が、ここでの低品質米は粘りけの強い米を指していると考えられる。米品種間の粘りけの違いについては不明の点が多いので、今後さらに調査を続ける必要がある。

第2に、時間がない場合は1回のみの蒸し煮ですます(no.12、37)。

第3に、季節や米の状況に応じて使い分ける(no.10)。

以上の3要因のうち最も多かった回答は「米品種に応じた選択」だったことから、これが蒸し煮方法を選択する際の最重要要因と考えられる。

パーボイル法における2者の分布 (図2)

2回蒸し煮(ボルカノ)はマルガラ炊飯法とほぼ共通する分布を示すのに対し、1回蒸し煮法はボシャバハット炊飯法とほぼ共通する分布を示す。両者の境界にあたる「ジョソール・モハメッドプール間の幹線道路」付近の村では両方法が併用される点も、炊飯方法の分布と共通している。

ただし、パーボイル方法の方が炊飯方法よりも同一村内のバリエーションが大きい。また、パーボイルの仕方は、同一世帯において米の状況に応じて両方法が使い分けられることもしばしばみられる。ただし、パーボイル方法は米を購入している世帯では記録できなかったため、炊飯方法よりも母集団の数が少ない。よって、炊飯方法とパーボイル方法のバリエーションの程度を定量的に比べるためには、今後、聞き取り世帯数を増やしていく必要がある。

パーボイル方法と炊飯方法の関連 (表5)

村単位と世帯単位の2つのレベルにおいて炊飯方法(マルガラかボシャバハットか)とパーボイル方法(2回蒸し煮か1回蒸し煮か)の相関を検討した結果、以下に示すように「マルガラと2回蒸し煮」「ボシャバハットと1回蒸し煮」という明瞭な結びつきがみられた(表5)。

カイ二乗検定を行うに当たり、資料数が少ない点を考慮して3 x 2の集計表(自由度が2)に整理統合した。即ち、村単位の集計では、炊飯方法を「ボシャバハット主体」と「マルガラ主体」の2要素に、パーボイル方法を「ボルカノ(2回蒸し煮)主体」「両方」「1回蒸し煮主体」の3要素に区分した。3 x 2の表にするため、不明は除外し、また、「ボシャバハットとマルガラの両方」の3個も除外した。その結果、資料数25、カイ二乗値15.0463、 $p < 0.005$ という明瞭な相関が

表5 炊飯方法とパーボイル方法の相関：村単位（上）と世帯単位（下）

村間比較		炊飯方法					？	総計
パーボイル方法	ボシヤバ ハット B	B(+M)	両者が 同種変	M(+B)	マルガラ M			
ボルカノ主体	1		1	4	4		1	11
両方	3	3	2	2				10
1回蒸し煮主体	3	5						8
不明	4	6	1		2			13
総計	11	14	4	6	6	1		42

n = 25
自由度 = 2
 $X^2 = 15.0463$
 $P < 0.005$

世帯レベル		炊飯方法					change to B	change to M	？	総計
パーボイル方法	ボシヤバ ハット B	B(+M)		M(+B)	マルガラ M					
ボルカノ	14	1		4	20	1	3			43
ボルカノ主体だが 1回蒸し煮も多い		1			1					2
両方	6			1	2					9
1回蒸し煮	26	2		4	15	1			1	49
ボルカノへ変化				1						1
不明	18	5		3	24	2	4		2	58
総計	64	9		13	62	4	7		3	162

n = 98 自由度 = 2 $X^2 = 4.06$ $P < 0.05$

得られた。次に、世帯単位の集計では、村単位と同様の要素に区分した結果、資料数 98、カイ二乗値 4.06、 $p < 0.05$ というまずまずの相関が認められた。

以上のように、地図上の分布（村単位）と世帯レベルの両者において「マルガラと 2 回蒸し煮」「ボシヤバハットと 1 回蒸し煮」という結びつきが観察された。「パーボイル方法の方が炊飯方法よりも村内でのバリエーションが大きい」という予測が正しいとすれば、「パーボイル方法の地域差は炊飯方法の地域差と連動している」、即ち「炊飯方法の変化に伴ってパーボイル方法も変化した」といえる。

炊飯方法とパーボイル方法の組み合わせの意味（表6）

炊飯方法に合わせてパーボイル方法も使い分けられる意義について、稲作文化圏全体を視野に置いて検討する。稲作文化圏（米を主食とする地域）は東アジア（日本、朝鮮半島、中国、台湾）、東南アジア（モチ米を主食とするラオス～タイ北半を除くインドシナ半島、島部のフィリピン・インドネシア）、南アジア（バングラデシュ、インド東半、スリランカを対象）に 3 大別できるが、各地域は独自の米品種（アミロース比率により測られる粘りけ程度）、加工方法（パーボイル加工の有無）、炊飯方法により特徴づけられる。即ち、米品種については、東アジア、東南アジア、南アジアの順に粘りけが弱まる（アミロース比率が高まる）傾向が明瞭にみられる（谷・小林 2002 の図 1 参照）。次に、パーボイル加工は東アジアと東南アジアでは行われないが、南アジアでは普遍的に行われる。最後に、炊飯方法は、東アジアでは煮汁を全て米粒に吸収させる（炊き干し法）ことにより粘りけのある炊きあがりにするのに対し、南アジアでは、最終段階で全て

表6 稲作文化圏の各地域の炊飯の特徴

	南アジア (インド東半)	南アジア (バングラデシュ)	東南アジア (タイ北半・ラオスのモ チ米地帯を除く)	東アジア
米品種の粘りけ成分 (アミロース比率)	25%以上(最も粘りけ弱 い)が8割以上	左同	25%以上が3～8割、 12%未満(粘りけ強い) は4割未満	12%未満が 8割以上
パーボイル加工	パーボイル(2回蒸し煮 主体?)	パーボイル(2回蒸し煮 と1回蒸し煮)	なし	なし
炊飯前の水漬け	なし	なし	なし	あり
炊飯類型	煮る湯取り法マルガラ主 体?	煮る湯取り法マルガラ と炊きあげる湯取り法ポ シヤバハット(蓋を完全 に掛けない)	炊きあげる湯取り法(側 面加熱を伴う蒸らし)	炊き干し法
米の炊きあがり	最もパサパサ	最もパサパサ～パサパサ	中間	最も粘りけ 強い
オカズと米飯を混ぜて 食べる度合い	高い	高い	中間	低い

の煮汁を取り去る(煮る湯取り法マルガラ)か蓋を完全に掛けずに加熱し部分的に煮汁を取り去った後に炊きあげる(炊きあげる湯取り法、ボシヤバハット)により最もパサパサした炊きあがりにする。そして、東南アジアでは、途中で煮汁の一部を捨てた後、弱火と側面加熱を伴う蒸らしにより残った水分を米粒に吸着させる(蓋は取らない)炊きあげる湯取り法により、パサパサ度が南アジアと東アジアの中間の炊きあがりを志向している。

このように、大きくみると稲作文化圏の東側から西側へと米品種、パーボイル加工(の有無)、炊飯方法の3者が連動して変化することにより、粘りけのある炊きあがりからパサパサした炊きあがりへのバリエーションを生み出している。この傾向を考慮すると、「ジョソール県のインド寄りの地域にマルガラとより徹底したパーボイル加工(二回蒸し煮)の組み合わせが分布する」という事実は、「南アジアの中でも東部(バングラデシュ)から西部(インド東半)へとよりパサパサした炊きあがりを達成する組み合わせが増える」ことを示している可能性がある。ただし、現段階ではバングラデシュの他地域やインドの炊飯方法とパーボイル方法の具体的データは得られていないので、このような見通しにたって食文化調査を継続していくことが望まれる。

なお、東アジア、東南アジア、南アジアの順にパサパサした炊きあがりへの志向が強まる背景として、この順に「オカズと米飯を混ぜて食べる」度合いが強まり、オカズの汁気を吸収しやすいパサパサした米が好まれるようになることがあげられる。

4. まとめ

1. 従来の分析において、炊飯方法とパーボイル加工の間に「煮る湯取り法マルガラと2回蒸し煮するパーボイル加工」「炊きあげる湯取り法ボシヤバハットと1回のみ蒸し煮するパーボイル加工」という結びつきが想定されたので、本稿では分布状況からこの点を検証した。

2. ジョソール県における炊飯方法とパーボイル方法の広域分布調査の結果、炊飯方法におけるマルガラ(煮る湯取り法)分布圏(インドからジョソール県南半)とボシヤバハット(炊きあげる湯取り法)分布圏(ジョソール県北半)が設定できた。両分布圏の境界付近では、マルガラと

ボシャバハットを併用する村が多く、また、両者を併用する世帯も存在した。

3. ヒンズー世帯は地域に関わらずマルガラを用いることから、マルガラがヒンズーのアイデンティティのシンボルとして用いられていると解釈された。

4. マルガラが上述の分布を示す理由として、インドのヒンズー世帯から影響と、購入米を使う頻度の増加、の2つが考えられる。前者については、マルガラはジョソール県の中ではインドとの結びつきが強い南半と西端に分布する、および、マルガラ・ボシャバハット境界地域付近では比較的近年にボシャバハットからマルガラに移行した例がみられる、という諸事実から、マルガラの分布拡大にはインドからの影響（ヒンズー世帯の移民を含む）があった可能性が想定された。後者の要因については、農業以外の産業に従事する人口が増えたのに伴い、村落部でも購入した米を用いる比率が徐々に増えてきている。品種が多様な購入米では炊飯時に適正な米水比率が分からない場合が多いことから、購入米の比率が増えるにつれて、水を多く入れすぎても失敗する危険が少ないマルガラが選択されるようになった。

5. パーボイル加工の分布は村レベル、世帯レベルの両者において炊飯方法と強い相関を示したことから、「炊飯方法の変化に伴ってパーボイル方法も変化した」という仮説が提示された。

6. 「煮る湯取り法マルガラとより徹底した（2回蒸し煮する）パーボイル方法という、よりパサパサした炊きあがりを達成する組み合わせ」がジョソール県のインド寄りの地域に分布する、という事実は、「東アジア、東南アジア、南アジアの順にパサパサした炊きあがりへの志向が強まる」という大きな傾向にそった地域差を反映している可能性がある。ただし、この仮説を検証するためにはバングラデシュ東部からインドに渡るより広域の食文化調査が必要である。

おわりに

本稿は、基盤研究B「住民参加型農村調査法によるガンジス川流域砒素汚染に関する開発援助方法論の研究」（代表：谷正和、平成16～19年度）による成果の一部である。調査に協力してくださったマルア村、シャムタ村のアシスタントと村民の方々、および調査助手の方々、科研分担者のBilkis Begum 助教授（ラジャヒ大学）に感謝いたします。

引用参考文献

Hodder, Ian 1982 *Symbols in action*. Academic Press, NewYork.

小林正史・谷正和 2002 「南アジアにおける米の加工、調理、食べ方の関連：バングラデシュ西部の調査例から」『北陸学院短期大学紀要』34:153-178.

2003 「南アジアにおける米のパーボイル加工：炊飯方法や米品種との関連を中心に」『北陸学院短期大学紀要』35:177-194.

バングラデシュ西部における炊飯方法とパーボイル方法の関連：広域分布調査をもとにして

付表① 世帯単位の属性表

村No	村名	Hindu/ Muslem	House No	炊飯類型	主婦の出身地	嫁入り (年前)	出身村での 炊飯方法	嫁入り時の 義母の 炊飯方法	パーボイル 類型	米の購入	炊飯方法 選択理由	パーボイル 方法 選択理由
1	Apra	Muslem	433	B					bolcano			
1	Apra	Muslem	999	B					bolcano			
2	Moshiurnagar	Muslem	222	B					single			
2	Moshiurnagar	Muslem	224	B					single			Use large hari
2	Moshiurnagar	Muslem	227	B					single			Use tabal
2	Moshiurnagar	Muslem	228	B					single			bolcano is rare
3	Singhajuli	Muslem	451	M	India	11	M only	B only	?	Buy rice	Tried to learned B, but failed	
3	Singhajuli	Muslem	599	M					bolcano	No buy		Use tabal
3	Singhajuli	Muslem	999	B(+M)	Jessore	17	M only	B only	?		Follow her mo- in-law after marriage	
3	Singhajuli	Muslem	999	B	Jenaidaha	10	B only	B only	?			
3	Singhajuli	Muslem	999	M	this village				?	buy rice		
3	Singhajuli	Muslem	999	M					?			
3	Singhajuli	Muslem	999	M					?			
4	Chaugacha town	Muslem	955	B	Fulsana, Chaugacha	2.5	B more common	B	single	sometimes buy rice		Use tabal
4	Chaugacha town	Muslem	956	change to B	Jessore	24	B more common	B	single	sometimes buy rice	changed to M in order to give mar to cows (will return to B when cows grow up)	
4	Chaugacha town	Muslem	952c	B	Tuadanga (near Indian border	16	B more common	B	?	Buy rice		
5	Tengarpur	Muslem	15a	M	Moisupur	15	M	M	bolcano			
5	Tengarpur	Muslem	16b	M					bolcano			
5	Tengarpur	Hindu	Hi21	M	Jessore	21	M	M	single			Use large hari
6	Hazrakanda	Hindu	315	M	Kazula, Jessore	22	M only		?	buy rice		
6	Hazrakanda	Muslem	999	B	near Jessore	6	B only	n/a	bolcano		moved from Chaugacha (mostly B) 2 mo ago	
6	Hazrakanda	Muslem	999	M	Moheshupur	9	M only	M only	bolcano			
6	Hazrakanda	Muslem	999	B	this village		B only	n/a	bolcano			
6	Hazrakanda	Muslem	999	M	Keshapur	25	M only	B only	single	mostly buy rice		
6	Hazrakanda	Hindu	Hi999	M					?	buy rice		
6	Hazrakanda	Hindu	Hi999	M					single	buy rice + bondok rice		
7	Isapur	Muslem	130	M	India	30	M	B	single			
7	Isapur	Muslem	131	M					single			
7	Isapur	Muslem	132	B	Narail	32	B only	B	single			
7	Isapur	Muslem	197	M(+B)	Bundritra (near Chaugacha	10	M	B (next house	single		Use B when busy. Use M during the last 2wks	
7	Isapur	Muslem	198	M(+B)					single		Rice from various shops are cooked in Margala	
7	Isapur	Muslem	200	B(+M)					?	buy rice	Use M only when young da cook	
7	Isapur	Muslem	201	B	Isapur				?	buy rice		
7	Isapur	Muslem	210	change to M	Jogadisapur	20	B	B	?	buy rice	Use M when water ratio is unknown	
7	Isapur	Muslem	276	B	Komlanpur (10km E	23	B	B	?			
7	Isapur	Muslem	999	B	Baksipur	14	B	B	single			
7	Isapur	Muslem	273a	B					?	buy rice		

小林 正史・谷 正和

村 No	村名	Hindu/ Muslem	House No	炊飯類型	主婦の出身地	嫁入り (年前)	出身村での 炊飯方法	嫁入り時 の義母の 炊飯方法	パーボイル 類型	米の購入	炊飯方法 選択理由	パーボイル 方法 選択理由
7	Isapur	Muslem	273b	M	Muktarpur (near Chaugacha	44	B?	M	bolcano		Started using M since 44 yrs ago.	
7	Isapur	Muslem	957a	B	Jessore	2	B only		single			
7	Isapur	Muslem	957a	?	same village				?			
7	Isapur	Hindu	Hi336	M					?			
7	Isapur	Hindu	Hi342	M					single			
7	Isapur	Hindu	Hi343a	M					?			
8	Patambarpur	Muslem	116	B(+M)	Kajipur, Magura	45	M	B	single		B is more difficult than M.	
8	Patambarpur	Muslem	118	M(+B)	Maimaisin (NE of Jessore	15	B	B	?	buy rice	Changed from M to B when cows were sold. Use M last 1 wk to feed chicken.	
8	Patambarpur	Muslem	116b	B(+M)					?			
8	Patambarpur	Muslem	118a	B	same village				single			
8	Patambarpur	Muslem	118b	M(+B)	Bagdaria	2.5	B	B	bolcano		Cows are fed by mar when milk is taken. Use large hari.	
9	Garibpur	Muslem	307	B	same village		B	B	bolcano			
9	Garibpur	Muslem	999	B					bolcano			
9	Garibpur	Hindu	Hi346	M	Jenaidaha				single			
10	Palua	Muslem	449	B					BOTH			
10	Palua	Muslem	449b	B					BOTH		single steaming in winter, bolcano in rainy season.	
11	Kaemkula	Muslem	999	B					BOTH		single steaming or bolkaon depends on rice condition.	
11	Kaemkula	Muslem	999	B(+M)					single		Use M when a large amount of rice is cooked.	
11	Kaemkula	Hindu	Hi999	M					single			
12	Magura	Muslem	609	B	Jikargacha	15	B only		bolcano			Use large hari
12	Magura	Muslem	611	M	Kaemkula	8	M only	M	bolcano			Use large hari
12	Magura	Muslem	999	change to M	same village	33	mostly B	B only	bolcano		Changed from B to M 5 yrs ago to feed cows.	Use large hari.
12	Magura	Muslem	999	B	Gonganondpur	24	B and M	B only	BOTH			Steam once when busy.
13	Hariadiara	Muslem	447b	M	Benapur	3.5	M	M	bolcano			
13	Hariadiara	Muslem	Jhona	M			M	M	?			
13	Hariadiara	Muslem	shop	M	Beniali	3	M	M	bolcano			use large hari
13	Hariadiara	Muslem	shop	M	Jikargacha	30	M	M	?			
14	Jikargacha	Muslem	790	M	Dhaka	3	M by gas	M only	?			
14	Jikargacha	Muslem	793	change to M	Shutepur (near Indian border	12	M	B	?		Changed from B to M 1 yr ago to feed cows. Use M when water ratio was wrong.	
14	Jikargacha	Muslem	793	change to B	Hasimpur (near Jessore	48	B		bolcano		changed from M to B 10 yrs after marriage.	
14	Jikargacha	Muslem	880	M	Jessore	14	M	M	bolcano			Use tabal
14	Jikargacha	Muslem	880	?	Jessore	65	M	M	?			
15	Nalikpur	Muslem	96	B	same village		M	B (no cow)	?	buy rice	Learn B (exceptional?) from mo-in-law	
15	Nalikpur	Muslem	103	M	Keshabpur	10	M only	M	bolcano			Use large korai
15	Nalikpur	Muslem	290	M	Shundolbon	35	B only	M	bolcano			Use large hari

バングラデシュ西部における炊飯方法とパーボイル方法の関連：広域分布調査をもとにして

村 No	村名	Hindu/Muslem	House No	炊飯類型	主婦の出身地	嫁入り(年前)	出身村での炊飯方法	嫁入り時の義母の炊飯方法	パーボイル類型	米の購入	炊飯方法選択理由	パーボイル方法選択理由
15	Nalikpur	Muslem	999	M	Noakali	40	M only	M (own cows)	bolcano			Use large hari
15	Nalikpur	Muslem	999	B	Raujani, Jessore	12	M only	M	?	buy rice		
16	Beniali	Muslem	539	M	Kondipur, Sharsha	2.5	M only	M	?	buy rice		
16	Beniali	Muslem	999	M	Komila	30	M only	M	bolcano			Use large hari
16	Beniali	Muslem	999	M	same village		M only		bolcano			
17	Gadkali	Muslem	193	M	same village		M only		?	buy rice		
17	Gadkali	Muslem	999	M	near Jikargacha	7	M only	M only	?	buy rice		
18	Kalagachi	Muslem	53	M	same village		M	M	BOTH			Steam once for IRRI, bolcano for other rice (lower quality)
18	Kalagachi	Muslem	357	M	Jessore	22	M only	M	bolcano		When water is gone, rice become Bosabhat. Use large hari	
18	Kalagachi	Hindu	Hi184	M					?	no field		
18	Kalagachi	Hindu	Hi999	M					bolcano	own field		
19	Rustonpur	Muslem	140	B	Aramnogur (near Jessore)	18	B only	M	bolcano			
19	Rustonpur	Muslem	439	B(+M)	same village		B		bolcano		B is used only by 12yr old da who does not know water ratio	
19	Rustonpur	Muslem	137a	B	near Jessore	20	M	M	?	buy rice		
19	Rustonpur	Muslem	140a	B(+M)	Chandapura	13	B		bolcano (+single)	often buy rice	Last Margala was yesterday when water ratio was wrong.	
20	Monoholpur	Muslem	215	B	Dakatia	5	B only	B	?	buy rice		
20	Monoholpur	Muslem	999	B					BOTH			bolcano for IRRI, single steaming for amon and others.
20	Monoholpur	Muslem	999	B	Balobazar	30	B		bolcano			
20	Monoholpur	Muslem	999	B	same village		B		bolcano	mainly buy rice		
20	Monoholpur	Muslem	999	B	same village		B		single			
20	Monoholpur	Muslem	202a	B	Shorokpa, Jenaidaha	13	B	B	?	buy rice		
21	Lebutra	Muslem	133	change to M	Bahadpur, near Jessore	36	B only		bolcano		Changed from B to M 1.5 yrs ago because family member increased from 6 to 12.	
21	Lebutra	Muslem	625	change to M	Kajula	10	B only	B	?	buy rice	Changed from B to M 3 yrs ago because rice variety changed from lower quality (rotna) to higher quality (miniket)	
21	Lebutra	Hindu	Hi586a	M					single	bondok rice		
21	Lebutra	Hindu	Hi91b	M					?	buy rice		
21	Lebutra	Hindu	Hi999	M					?	buy rice		
22	Ichari	Muslem	79	B	Jessore	35	B	B	single	no buy rice		
22	Ichari	Muslem	999	M	Jessore	31	M	B	?			
24	Arpara	Muslem	999	B	Jogadisipur	35	B only	B	single			
24	Arpara	Muslem	257b	B	near Chaugacha	14	B only	B	bolcano			

小林 正史・谷 正和

村 No	村名	Hindu/ Muslem	House No	炊飯類型	主婦の出身地	嫁入り (年前)	出身村での 炊飯方法	嫁入り時 の義母の 炊飯方法	パーボイル 類型	米の購入	炊飯方法 選択理由	パーボイル 方法 選択理由
24	Arpara	Muslem	257d	B	Balobazar, near Jessore	12	B	B	single	sometimes buy rice		
25	Saidpur	Muslem	94	B	same village		B only		single			
25	Saidpur	Muslem	101	B	same village		B		single			
25	Saidpur	Muslem	98a	B	Jenaidaha	24	B only	B	single			
26	Gubuli: Middle para	Muslem	189	B	India 24Porgana	20	M only	M	single			
26	Gubuli: Hindu para	Muslem	218	M(+B)	India, 24Porgana	35	B and M	B	bolcano			
26	Gubuli: Hindu para	Muslem	225	M	India, 24Porgana	15	B and M	B and M	BOTH			bolcano for IRRI +Miniket, single steaming for aus +rotina
26	Gubuli: Hindu para	Muslem	999	M(+B)	same village		B only		single		Use M today	
26	Gubuli: Hindu para	Muslem	999	M(+B)	Chulomonkati	13	B only	B	BOTH		Use M yesterday due to wrong water ratio. Single steaming for lower quality rice, bolcano for higher quality	
26	Gubuli: Middle para	Muslem	999	B	same village		B		single	own land		
26	Gubuli: Middle para	Muslem	999	B	same village	young	B	B	single			
26	Gubuli: Hindu para	Hindu	HiPotters	M					?			
27	Kayarpara	Muslem	614	M	Noakali	60	M only	M	single	No buy		
27	Kayarpara	Muslem	999	B	same village		B		?	Buy rice		
27	Kayarpara	Muslem	999	B	Chaugacha	20	B		?	Buy rice		
28	Arenda	Muslem	999	M(+B)	this village (young wife)		M		?	buy 5kg rice /wk	Margara can be kept longer. Give mar to others.	
28	Arenda	Muslem	999	M	Jikaragcha	7	M	M	bolcano			
28	Arenda	Muslem	999	M	Shutepur (near India)	10	M only		?	buy rice every 2-3 days		
28	Arenda	Muslem	179b	M	Narangari (8km west)	8	M only	M	bolcano			
29	Narangari	Muslem	289	M	Aromnagoru (near Jessore)	35	changed to M 30yrs ago	changed to M 10 yrs ago	bolcano	sometimes buy		
29	Narangari	Muslem	999	M(+B)	Tulamankati (3km to Jessore)	22	B only	changed to M	change to bolcano	No buy	Changed from B to M 7 yrs ago.	
29	Narangari	Muslem	999	B	this village		B		bolcano	No buy		
29	Narangari	Muslem	999	M	Monilanpur	30	M	changed to M	bolcano			
29	Narangari	Muslem	999	B(+M)	this village		B		?	Buy rice everyday		
30	Halsa	Muslem	160	B	Shutepur (near India)	24	B only	M	bolcano	sometimes buy rice	changed from M to B 20 yrs ago when she built own house.	
30	Halsa	Muslem	999	B	Chaugacha	20	changed to B 12 yrs ago		single	No buy		
30	Halsa	Muslem	999	B	Chaugacha	30	B only	B	?			
30	Halsa	Hindu	Hi999	change to B	Khulna	30	M		?	Buy rice	changed from M to B 4 yrs ago	
31	Monoholpur	Muslem	247	M(+B)	Chaugacha	15	B is more common	M only	bolcano		M or B depends on water conditions	
31	Monoholpur	Muslem	999	B	Chaugacha	16	B only	B only	?	Buy rice		
31	Monoholpur	Hindu	Hi240	M					bolcano (+single)			
31	Monoholpur	Hindu	Hi242	M					single			
31	Monoholpur	Hindu	Hi999	M					?	Buy rice		
32	Barakabila	Muslem	17	M	Doluni (near Chaugacha)	14	B only	changed to M 5 yrs ago	?	Buy rice		

バングラデシュ西部における炊飯方法とパーボイル方法の関連：広域分布調査をもとにして

村No	村名	Hindu/Muslem	House No	炊飯類型	主婦の出身地	嫁入り(年前)	出身村での炊飯方法	嫁入り時の義母の炊飯方法	パーボイル類型	米の購入	炊飯方法選択理由	パーボイル方法選択理由
32	Barakabila	Muslem	19	B	this village		B only	B only	?	Buy rice		
32	Barakabila	Muslem	20a	change to B	Bashondia (near Jessore)	8	B only		?	Buy rice	change from M to B 2 mo ago because they sold all cows	
33	Masampur	Muslem	95	B	India, Mariputa	9	M only	B only	BOTH	sometimes buy rice		
36	Fatepur	Muslem	644	B	Pagalpara (16km east)	12	B only	B only	single	Buy rice		
36	Fatepur	Muslem	645	B	Jessore	8	B only	B only	single	No buy		
36	Fatepur	Muslem	652	M(+B)	Narail	5	M only	B mostly	single	No buy	Use B when rice quality is not good	
36	Fatepur	Muslem	656	B	Goparpur (near Jessore)	10	B only	B only	single	No buy		
37	Darajhut	Muslem	453	change to M	same village	20	B only til 2 yrs ago	B only	?	buy 100kg/mo	Changed from B to M 2 yrs ago when started to grow cows	
37	Darajhut	Muslem	454	B	neighbouring village	30	B only	B only	?	Last buy in Sept, 1 100kg		
37	Darajhut	Muslem	455	change to M	same village	14	B til 6 mo ago		bolcano (husband works in mill)	no buy	Changed from B to M 6 mo ago. Now use B only when water is all gone in Margala	
37	Darajhut	Muslem	999	M	Jessore	1	M only	M only	?	Buy 8kg/wk	Use M because young wife used to use M	
37	Darajhut	Hindu	HiPotters	M					single	mostly buy rice		Steam once because they do not have time to do bolcano
38	Bashvida	Hindu	100	B	Shakati union (S of Jessore)	18	B only	B only	single	rarely buy		
38	Bashvida	Hindu	120	B	Bagalpara (10km west)	25	B only	B only	single	rarely buy		
38	Bashvida	Hindu	397	B	Faripuu (100km N of Jessore)	7	B only	B only	single	Buy rice for 6mo. Bondok rice for 6mo	Her mo changed from M to B when moved to Jessore 10 yrs ago	
38	Bashvida	Hindu	999	M	Narail	2mo	B only	B only	single	No buy	Use M in Narail til 2 mo ago	
39	Tularampur	Muslem	437	B(+M)	Pagalpara (10km North)	10	B only	B only up to now	?	buy 50kg/mo	Use M when cook purchased rice	
39	Tularampur	Muslem	440	B	Narail	35	B only	B only up to now	?	buy rice		
39	Tularampur	Muslem	999	M(+B)	neighbouring village	50	B only	B only up to now	?		Change from B to M 3 yrs ago	
39	Tularampur	Muslem	999	?	Pagalpara (10km North)	2	B only		single	no buy		
40	Kurigram	Hindu	Pal	M	?				?	Buy rice		
41	Mohamedpur	Muslem	179	M	Gongaldpur (near Jikargacha)	18	M only	M	single	No buy		
41	Mohamedpur	Muslem	180	M(+B)	same village	20	M only	changed to M	bolcano	No buy		
41	Mohamedpur	Muslem	182a	M	this village		M	M	single			
42	Baloihati	Muslem	999	B					bolcano			Steam once in old days.
42	Baloihati	Muslem	59e	B					?	buy rice		

付表② 主婦の出身地の炊飯類型

主婦の出身地	Tana/ Zila	嫁入り (～年前)	出身村の炊飯類型
Faripur	(100km N of Jessore)	7	ボシヤバハットのみ
Bagherpara	Bagherpara	25	ボシヤバハットのみ
Bagherpara	Bagherpara	10	ボシヤバハットのみ
Bagherpara	Bagherpara	2	ボシヤバハットのみ
Bagherpara	Bagherpara	12	ボシヤバハットのみ
Bundritra	Chaugacha	10	マルガラ
Chaugacha	Chaugacha	20	ボシヤバハット
Chaugacha	Chaugacha	30	ボシヤバハットのみ
Chaugacha	Chaugacha	20	ボシヤバハットに変化 (12年前)
Chaugacha	Chaugacha	15	ボシヤバハット主体
Chaugacha	Chaugacha	16	ボシヤバハットのみ
near Chaugacha	Chaugacha	14	ボシヤバハットのみ
Fulsana	Chaugacha	2.5	ボシヤバハット主体
Jogadispur	Chaugacha	20	ボシヤバハット
Jogadispur	Chaugacha	35	ボシヤバハットのみ
Doluni	Chaugacha?	14	ボシヤバハットのみ
Muktarpur (near Chaugacha)	Chaugacha?	44	ボシヤバハット?
Dhaka	Dhaka	3	マルガラ
India	India	11	マルガラのみ
India	India	30	マルガラ
India, 24Porgana	India	20	マルガラのみ
India, 24Porgana	India	35	両方
India, 24Porgana	India	15	両方
India, Mariputa	India	9	マルガラのみ
Jenaidaha	Jenaidaha	10	ボシヤバハットのみ
Jenaidaha	Jenaidaha	24	ボシヤバハットのみ
Shorokpa,	Jenaidaha	13	ボシヤバハット
Moheshupur	Jenaidaha (near India)	9	マルガラのみ
Moheshupur	Jenaidaha (near India)	15	マルガラ
Jessore	Jessore	17	マルガラのみ
Jessore	Jessore	24	ボシヤバハット主体
Jessore	Jessore	21	マルガラ
Jessore	Jessore	2	ボシヤバハットのみ
Jessore	Jessore	14	マルガラ
Jessore	Jessore	65	マルガラ
Jessore	Jessore	22	マルガラのみ
Jessore	Jessore	35	ボシヤバハット
Jessore	Jessore	31	マルガラ
Jessore	Jessore	8	ボシヤバハットのみ
Jessore	Jessore	1	マルガラのみ
near Jessore	Jessore	6	ボシヤバハットのみ
near Jessore	Jessore	20	マルガラ
Kazula, Jessore	Jessore	10	ボシヤバハットのみ
Kazula, Jessore	Jessore	22	マルガラのみ
Raujani	Jessore	12	マルガラのみ
Churamonkati	Jessore NW	13	ボシヤバハットのみ
Churamonkati	Jessore NW	22	ボシヤバハットのみ
Narangari 29	Jessore W	8	マルガラのみ

主婦の出身地	Tana/ Zila	嫁入り (～年前)	出身村の炊飯類型
Aramnogur (near Jessore)	Jessore?	18	ボシヤバハットのみ
Aramnogur (near Jessore)	Jessore?	35	マルガラに変化 (20年前)
Bahadpur, near Jessore	Jessore?	36	ボシヤバハットのみ
Balobazar, near Jessore	Jessore?	30	ボシヤバハット
Balobazar, near Jessore	Jessore?	12	ボシヤバハット
Bashondia (near Jessore)	Jessore?	8	ボシヤバハットのみ
Goparpur (near Jessore)	Jessore?	10	ボシヤバハットのみ
Hasimpur (near Jessore)	Jessore?	48	ボシヤバハット
Beniali 16	Jikargacha	3	マルガラ
Gongaldpur	Jikargacha	18	マルガラのみ
Jikargacha	Jikargacha	7	マルガラ
Jikargacha	Jikargacha	15	ボシヤバハットのみ
Jikargacha	Jikargacha	30	マルガラ
near Jikargacha	Jikargacha	7	マルガラのみ
Kaemkula 11	Jikargacha N	8	マルガラのみ
Keshabpur	Keshabpur	10	マルガラのみ
Keshabpur	Keshabpur	25	マルガラのみ
Khulna	Khulna	30	マルガラ
Komila	Komila	30	マルガラのみ
Kajipur, Magura	Magura	45	マルガラ
Monilanpur	Monilanpur	30	マルガラ
Narail	Narail	5	マルガラのみ
Narail	Narail	2mo	ボシヤバハットのみ
Narail	Narail	35	ボシヤバハットのみ
Narail	Narail	32	ボシヤバハットのみ
Noakali	Noakali	40	マルガラのみ
Noakali	Noakali	60	マルガラのみ
Benapur	Sharsha	3.5	マルガラ
Kondipur	Sharsha	2.5	マルガラのみ
Shundolbon	Shundolbon	35	ボシヤバハットのみ
Komlanpur	(10km E of Isapur)	23	ボシヤバハット
Maimaisin	(NE of Jessore)	15	ボシヤバハット
Shakati union	(S of Jessore)	18	ボシヤバハットのみ
Shutepur	(near India)	10	マルガラのみ
Shutepur	(near India)	24	ボシヤバハットのみ
Shutepur	(near India)	12	マルガラ
Tuadanga	(near Indian border)	16	ボシヤバハット主体